



## 第33回 測量の日



「測量の日」は、測量の日として1949年(昭和24年)6月3日に制定された。今年で73周年を迎える。

# 測量の日 6月3日

私たちの安全・安心のため  
国土を測る



「測量の日」は、測量の日として1949年(昭和24年)6月3日に制定された。今年で73周年を迎える。測量は、国土の管理・保全に不可欠な基礎情報を提供している。測量は、国土の管理・保全に不可欠な基礎情報を提供している。測量は、国土の管理・保全に不可欠な基礎情報を提供している。

国土交通省 国土地理院  
院長 野田 勝



測量の日は、測量法が1949(昭和24)年6月3日に公布されてから1989(平成元)年で40年を迎えたことを機に、測量と地図の役割と重要性について多くの皆さまに理解を深めていただくことを目的として当時の建設省(現国土交通省)により制定され、今年で73周年を迎えました。

国土のどこに何があるかを正確に測って明らかにすることは、国が存立する上で欠くことの出来ない(国の責務)です。国土地理院では、位置の基準を定める(測る)、国土の地図を作る(描く)、日本の国土を守る(守る)、防災意識社会に向けた「伝える」の四つのテーマで施策を推進しています。

令和の時代を迎え、国土地理院ではさまざまな課題にも取り組んでいます。インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)では、デジタルデータで現実空間を再現し、インフラや建設現場などの場所を位置情報で表現・共有することが必要ですが、地面は地殻変動により動き続けているため、複数の位置情報を扱う際には共通ルール(位置の基準)に準拠させる必要があります。国土地理院では、位置情報を「国家基準」と呼ばれる唯一の公的な位置の基準準拠させ、データの流通・活用を促進、建設プロセスの効率化を図るため、「定常地殻変動修正システム」の提供、民間等電子基準点の登録制度の運用開始などの取り組みを行っています。

### 位置情報共有し建設プロセスを効率化 防災意識向上へ地理教育を継続支援

また、国土地理院は災害対策基本法に基づく指定行政機関です。災害時には、測量・地図分野の最新技術を活用して救助活動や復旧・復興に役立つ地理空間情報整備・提供を行っています。令和2年7月豪雨では、広範囲地域で発生した河川の氾濫に対し、現場での迅速な救助活動や排水計画に役立てるため、S N SやSNSで災害等のさまざまな情報から発生範囲や被害の発生を速報し、被害データを基に「浸水推定図」を作成して提供しました。

さらに、2022(令和4)年度から高校で「地理総合」が必修科目となります。住民一人一人が地理の重要性を理解し、防災意識を高めるためには、地理教育を通して国土の有り様を理解する能力を身に付けることが重要です。国土地理院では、地図など地理の授業で活用できるコンテンツをまとめた「地理教育の道具箱」を公開しました。教科書・教材出版社を対象とした説明会を開催しており、引き続き地理教育を支援していきます。

国土地理院は、今後も国家調査機関として、社会のニーズや技術を踏まえ、土地の測量および地図の調製に関する施策を通じて、地理空間情報の活用を推進し、国民生活の向上および国民経済の健全な発展に貢献してまいります。皆さまには、格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 暮らしの安全を支える地図

地図は、行政における各種計画、防災・防災対策、教育、レジャーなど、多方面で広く活用され、私たちの暮らしに欠かせないものです。



### Webで閲覧できる地理院地図

地理院地図は、国土地理院の整備する各種地理空間情報(道路や鉄道など最新状況が反映される電子国土基本図の他、空中写真、標高、地形分類、災害情報)などを閲覧出来るウェブ地図です。災害の備えとなる防災地理情報も提供しています。



国土交通省・「測量の日」実行委員会

測量は暮らしのさまざまな場面で重要な役割を果たしています

国際的基準に基づく国土位置を定める取り組み

電子基準点による位置情報サービスの支援

Webで閲覧できる地理院地図

主唱 国土交通省

推進団体 「測量の日」実行委員会

一般財団法人 日本地図センター

公益社団法人 日本測量協会

一般社団法人 地図調製技術協会

一般社団法人 地図協会

一般社団法人 測量専門教育センター

一般社団法人 全国測量設計業協会連合会

公益社団法人 日本測量調査技術協会